中村みえ後援会通信 ひまわり新聞

VOL. 14
2022年11月1日

中村みえ後援会事務所　〒283-0066 東金市南上宿 16-13　TEL0475-55-5737　発行者/神谷美咲

ごあいさつ

このたび「ひまわり新聞」VOL.14号を発行することになりました。
日頃より皆様方のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。
９月定例会において、蒼政会を代表しての代表質問を行いました。今回も独自の調査・研究、そして市民の皆様からお預かりしたご意見・ご要望、自分の思いを込め、質問いたしました。その一端をご報告致します。
改めまして、議員は税金が効果的に使われているか、確認する役割が重要な責務であることを認識し、より良い住民福祉サービスを目指し、力を尽くしてまいりたいと思います。
この冬は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が起こるとの懸念が高まっています。引き続き基本的な感染予防対策を行い、市民の皆様と共にこの難局を乗り越えてまいりたいと思います。
今後とも更なるご支援、ご理解のほどよろしくお願いいたします。　中村みえ

猪口邦子チャンネルのご案内

参議院　外交・安全保障に関する調査会会長
自由民主党　領土に関する特別委員会委員長
参議院議員 猪口邦子

猪口先生のご活躍の様子を YouTube「猪口邦子チャンネル」にアップしています。是非ご覧ください！

https://www.youtube.com/channel/UCRRtK2cg5RifM79Bv4hIG8g

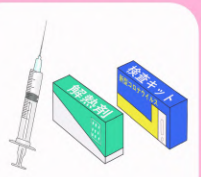
10月18日市議会臨時会 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

東金市では、住民税均等割非課税世帯等への緊急支援給付金や地方創生臨時交付金の拡充に伴う物価高騰等の影響に対応する支援事業について、約４億9,400万円の一般会計補正予算案を10月18日の市議会臨時会に提出し、全会一致で可決、成立しました。

○国の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金　３億1,500万円
【給付金の支給額】1世帯あたり5万円を支給
【支給対象】
- 世帯全員の令和４年度「住民税均等割が非課税」の世帯　市から確認書が届きます
- 令和４年１月～12月の収入が減少し「住民税非課税相当」の収入となった世帯（家計急変世帯）　申請が必要です

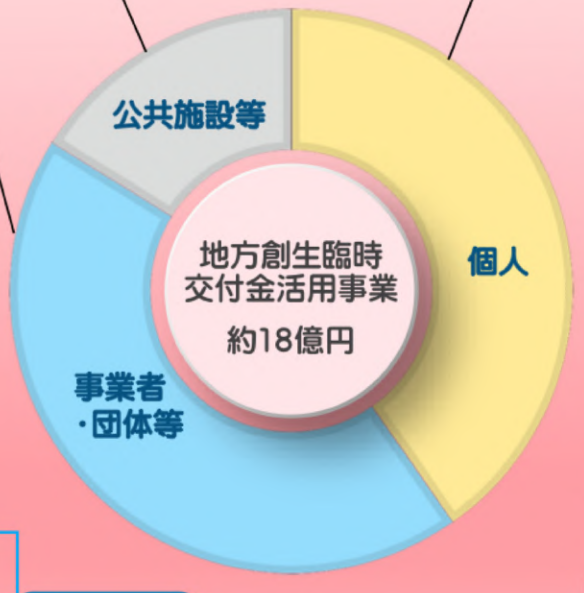
○東金市の地方創生臨時交付金活用による補助
- 公共交通事業者への経営支援　285万円
- 障害福祉サービス事業所等への運営支援　560万円
- 介護保険施設等への運営支援　2,260万円
- 医療機関等への運営支援　8,210万円
- 民間保育施設等への運営支援　517.3万円
- 市立の保育所、認定こども園の給食材料費補填　120.4万円
- 幼稚園、小・中学校の給食材料費補助　1,512.7万円

私の思い：これまで、当市においては、個人を対象とした事業、事業者・団体等を対象とした事業、公共施設等を対象とした事業等を、バランス良く、実施されてきたと感じています。
一方で、今年は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行も懸念される中で、「新型コロナウイルスの感染拡大の防止」という基本を意識して、検査キットの確保と配布など、引き続き、地域の実情に応じた、きめ細やかな、取組みを期待致します。



東金市における「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用状況

令和2年度～令和4年度（6月）



公共施設等を対象とした主な事業

〔令和2年度〕
- **小中学校コンピューター事業（端末整備）**（GIGAスクール構想に準じた１人１台のICT端末整備）（137,890千円）
- **防災活動支援事業**（避難所で使用する感染拡大防止のための消耗品購入・備品導入）（22,718千円）
- **公共的空間安全・安心確保事業**（スポーツ施設の衛生環境・感染リスクの減少対策）（24,662千円）

事業者・団体等を対象とした主な事業

〔令和2年度〕
- **中小企業等支援事業**（千葉県の中小企業再建支援金の対象となった事業者、売上が前年同月比15%以上減の事業者への補助）（252,259千円）
- **東金市小規模事業者持続化補助金**（市内の小規模事業者への補助）（11,471千円）

〔令和３年度〕
- **中小企業等緊急支援事業**（個人事業主を含む中小企業等に支援金を給付）（138,958千円）
- **公共交通事業者緊急支援事業**（2,850千円）
- **中小企業等緊急支援事業**（クーポン券発行に係る割引分として市民約57,800人×3千円）（219,361千円）
- **中小企業等緊急支援事業**（クーポン券発行に係る割引分として市民約57,800人×5千円）（320,306千円）

〔令和４年度〕
- **東金市新型コロナウイルス感染症対策農業者支援事業**（68,950千円）

個人と事業者・団体等の両方を対象とした事業

個人を対象とした主な事業

〔令和2年度〕
- **高齢者防災用品配布事業**（26,195千円）
- **一人暮らし高齢者配食サービス事業**（12,254千円）
- **東金市子育て応援給付金給付事業**（児童１人あたり１万円を給付）（66,930千円）
- **小学校・中学校教育振興事業**（市内在住在学の小学生・中学生１人につき5,000円分の図書カードを配付）（20,577千円）
- **臨時休業に伴う食費増大支援金**（幼稚園、小学校及び中学校に通う児童・生徒の給食費２か月相当額を補助）（45,703千円）
- **新型コロナウイルス感染症検査費用助成事業**（介護施設等及び障害者施設等の新規入所者及び従事者に係るＰＣＲ検査に係る経費を助成）（55,120千円）

〔令和４年度〕
- **保育施設等利用者給食費支援事業**（保育施設に通う３歳児から５歳児までの給食費６か月相当額を補助）（25,387千円）
- **学校給食費支援事業**（幼稚園、小学校及び中学校に通う児童・生徒の給食費６か月相当額を補助）（122,955千円）

【参照資料】
この資料は、内閣府の公表している「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の「地方公共団体の事業計画」の各年度実施計画から、東金市の事業として掲載されている項目について、主な事業を抽出し、整理したものです。

中村みえが東金市議会で取り組んでいること

９月定例会一般質問（代表質問）

①教育行政について
・学校給食について
・通学路の安全対策について
②農業振興行政について
③環境行政について
④観光行政について
⑤医療行政について

学校給食について

質問：本市の小学校給食施設は、平成４年に開校した日吉台小学校を除いては、昭和50年代に建設された施設であり、文部科学省の「衛生管理基準」や「大量調理施設衛生管理マニュアル」に適合していないなど、老朽化が進んでいる状況であるにもかかわらず、給食関係者のご尽力により、現在、安全な学校給食の提供が行われていることに感謝申し上げます。

しかしながら、多くの市民の皆様が待ち望んでいらっしゃる公立幼稚園３歳児の早期給食提供においては、未だ10月からの提供であり、その課題解決に向けても、早急な施設の整備が必要です。

また、食物アレルギーへの適切な対応が求められる中でも「老朽化する給食施設の抜本的改善」、これは市長選での選挙公約でもあり、将来に渡って安定的に安全な給食提供ができる施設づくりを迅速に進める必要があると考えます。

今後の給食施設の更新について、教育長はどのようなお考えをお持ちか、給食施設設置の方針の決定についてどんな風に進めていくお考えかお伺いします。

教育長答弁：給食で肝要な事柄は、給食時間に間に合うことと安全な食の提供にあります。

一方、本市の給食施設は施設の老朽化のみならず学校給食衛生管理基準に適合していない部分や食物アレルギーに十分に対応できていない現状にあります。

従いまして、給食施設の更新は、喫緊の課題であると考えております。

教育委員会といたしましては、立ち上げました検討会の提言を受け、その実現性について精査し、年度以降、具体案となる基本方針を取りまとめてまいりたいと考えております。

質問：給食施設の更新は喫緊の課題とのご認識ですが、貴重な税金を使うわけですから、長期的な観点にたった施設の維持管理、運営コストの縮減等大きな課題を精査した上で、給食施設設置の手続について、具体案となる基本方針を取りまとめていただきたいと思います。

私も教育委員会と一緒に、この課題に向き合っていく、その思いから、他の多くの自治体で採用しているセンター方式の給食施設はどのようなものか、実際、自分の眼で、どういった内容なのか、確かめたく、７月25日に匝瑳市給食センターを、７月27日に富里市給食センターを視察してきました。

両センター共、最新の調理機器を備え、厳しい衛生管理と作業動線も考慮された給食センターでした。

今回の視察により、改めて、国の衛生管理基準を満たした安全安心な学校給食の提供を最優先の課題として、早期に取り組む必要があると思いました。

市長は選挙公約において、抜本的な改善を行うとしていますが、任期中に実施に向けた取組をどこまで進め、新しい給食施設をいつから稼働するお考えかお聞きします。

市長答弁：安全安心な学校給食を提供するうえで、老朽化が進む給食施設の更新は、喫緊の課題であり、第４次総合計画においても、施設整備のあり方について検討することを組み込んでいるところです。

子ども達に安定的に給食が提供され、さらには衛生管理面の強化、食育の推進といったものが十分機能し、かつ事業の効率化を図る必要があると認識しております。

議員ご質問の施設更新の時期については、その更新方式により、事業着手の時期や整備期間といったものが変わってまいりますが、可能な限り早期の施設更新が望ましいものと考えております。

私の思い：可能な限り早期の施設更新が望ましいとのこと。未来を担う東金市の子供たちに安全で安心な給食の提供することを最優先に、早期に施設整備計画を具体化し、この事業に着手してくださいますよう要望いたします。

東千葉メディカルセンターについて

質問：国において、昨年度末に「公立病院経営強化ガイドライン」を策定したことから、その基本的な考え方について、総務省自治財政局のご担当と電話でヒアリングをさせていただきましたところ、地域の中で公立病院が担うべき役割・機能を明確にして病院間の連携を強化する「機能分化・連携強化」に主眼をおいて推進するとのことでした。

市長の考えや今後の展望について伺います。

市長答弁：山武地域の医療を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大、少子高齢化の進展、医療人材の不足等により、厳しい状況が続いております。

こうした状況におきまして、東千葉メディカルセンターを始めとする山武地域の医療機関が、地域医療構想を踏まえた役割を果たし、持続可能な運営を継続していくためには、地域における中長期的な医療需要を見据え、医療機能の分化と連携を推進することが不可欠であると認識しております。

この度、私の発議により、新しく設置された山武地域部会は、特に山武地域の実情に合った医療提供体制を協議する場でございますので、東千葉メディカルセンターが急性期医療に重点を置く地域の中核病院としての役割を果たしていけるよう、実効性ある議論を集中的に行ってまいります。

設立団体といたしましては、東千葉メディカルセンターの役割分担と医療連携に向けた取組を、千葉県からの助言や支援を頂きながら、今後も支援していく所存でございます。

私の思い：この地域において、持続可能な医療提供体制を確保するため、「医療の役割分担と連携」について、地域の実情を踏まえ、そして「患者の視点」で、検討を進めていただくことを、切に要望いたします。

そして、市長は、平成30年度の千葉県による追加財政支援に係る協議の際に、３つの事項を要望・提起され、そのうちの

(1)二次保健医療圏における関係自治体に対しての、財政支援を含めた連携への働きかけを千葉県が主体となって取り組むこと。

(3)東千葉メディカルセンターの累積赤字の取り扱いや解消に向けた手立てについて、設立団体とともに考えていくこと。

については、今回の山武地域部会が始まったことで、その一歩を踏み出したように感じます。

引き続き、もう一つの事項である

(2)県内公立病院の設立・設置団体の財政状況等も踏まえたかたちでの、公立病院における救急をはじめとした政策医療の提供に対する、千葉県による新たな支援制度（補助金）を創設すること。

も含めて、千葉県への理解と支援を求め、東千葉メディカルセンターの経営の安定化に向けた取組にまい進頂きたいと考えます。

TOPICS

関東還暦・古希軟式野球大会

関東還暦・古希軟式野球大会が３年ぶりに成田市で開催され、東金野球クラブ（マネージャー）として、運営のお手伝いをしました。

選手の皆様のはつらつとしたプレー！ひたむきに白球を追いかける姿に感動しました！

東金市西部地域包括支援センターを訪問

昨年10月に高齢者の相談窓口として設置された「東金市西部地域包括支援センター」を訪問して、鎗田センター長から、運営にあたってどの様なご苦労があるのか伺いました。

センターと連携した高齢者の支援体制づくりの大切さを感じました。

上宿区防災倉庫の点検作業

10月1日、上宿区役員で地域防災拠点、東上会館防災倉庫の備品点検を行いました。

いざという時に効果的な活動を行えるよう、日頃から災害に備えて準備をしていなければならないと、改めて感じました。

ときめけ！東金スポーツフェスティバル2022

10月9日、東金アリーナで第1回「ときスポ」が開催されました。この「ときスポ」は、これまで東金市で行われてきた「スポレクデー」と「市民体育祭」を統合したスポーツイベントです。

大会ゲストは、東金市出身アスリートとして活躍されている永田裕志さんと土井友里永さんでした。